

実績概要 (ホームページ掲載用)

研究又は活動のテーマ	「高千穂通り花みちプロジェクト」を通した美しい宮崎づくり
助成事業者	(一財) 日本造園修景協会宮崎県支部
代表者	支部長 黒田 博司

(目的)

当団体は、令和2年から「居心地の良く歩きたくなる高千穂通りを未来につなごう！」を合言葉に、通り沿いの企業や県民の皆様、道路管理者の県と連携しながら、多年草や一年草を織り交ぜた多様性のある「宮崎ガーデン」を植え育てる「高千穂通り花みちプロジェクト」に取り組んでおります。

ガーデンづくりにあたっては、季節毎の植栽イベントのほか、ボランティア団体(花みちcrew)による月2回(第2・4日曜日)のメンテナンス活動を行っております。

4年目を迎えて少しずつ成長した草花は通りの風景になじんできており、通りを歩く皆様から評価の声もいただいております。

しかしながら、季節毎に姿を変え年々成長する多年草の管理は決して容易ではなく専門的な知識やスキルに基づくきめ細やかなお手入れが必要です。

このため、ボランティアの皆様が植物に親しみながらガーデナーのアドバイスを受ける仕組みづくりや、水あげサポーター希望者にジョウロを配布するなど、皆さんが公共花壇を「まちの庭」として身近に感じていただけるような様々な取組に工夫しながら挑戦しております。

今後も、居心地の良く歩きたくなる高千穂通りを未来につなぐため、これまでの取組みを発展させながら、植物で様々な方々を繋ぐ活動に取り組んでまいります。

(概要)

居心地の良く歩きたくなる高千穂通りを未来につなぐため「宮崎ガーデン」を育てる活動を継続して実施した。

植栽イベントについては、9月3日(日)に宮崎県人会世界大会の開催に向け、国内外から参加される方々を美しい景観でおもてなしするため、宮崎県小林生まれの花であるケイトウ「霧島の秋」などを植栽する「秋のおもてなし植栽」を開催した。

また、11月23日(祝)には、通り沿いの企業や県民の皆様の参加をいただき「みんなで宮崎ガーデンをつくろうよ! in高千穂通り」(4年目)を開催した。

月2回のメンテナンス活動においては、タネまきやポットあげ、植栽、株分け、切り戻しなどの多様なお手入れ、「ラックス株分け講習会」や「ふゆのマルチング講座」の開催などを通して、ボランティアの皆様に対して植物と親しみながら学ぶ機会を提供した。

